

編集後記

『年報 太宰府学』が完成いたしました。

第七号には、高倉洋彰委員・橋富博喜氏・柳智子氏・山村信榮氏から貴重なご論考をいただき、川添昭二顧問からは文献目録のご提供をいただきました。厚く御礼申し上げます。

高倉委員の論文は、太宰府市史では未解明であった大宰府管内の総国分尼寺を史料から比定し、その役目が観世音寺にあったとするものです。

橋富氏の論文は、前号収録の齋藤秋圃新出画稿の分析に続き、太宰府に関係する江戸時代の絵師の日記としては初出である、秋圃の『京遊日記』を、その周辺史料とともに分析したものです。

柳氏には、第四号でも木鷲の形態の歴史的变化と技術の継承を紹介した論文をいただきましたが、今回の論考は、全国に伝播した木鷲について、その分布状況、形態の地域的・时期的な変遷の詳細等を分析した、こちらも力作です。

山村氏の研究は、古代に比べて研究が低調とされる中世太宰府の道路に注目し、太宰府における中世都市論を展開しています。

そしてこの度も、川添顧問からは「征西將軍宮関係文献目録」として貴重なデータを頂戴いたしました。

また、弊室の活動報告として、襖及び屏風の下張り文書調査の成果の一部を掲載いたしました。この調査は弊室初の試みで、襖等をご提供いただいた高田氏をはじめ、ご協力いただいた諸氏に感謝いたします。他には市史編さん後の取り組みについて、行政文書の保存を中心に現状と課題をまとめております。

今年度から、弊室は新設の「情報・公文書館推進課」に所管がかわりました。本誌がその名に掲げます「太宰府学」の研究と、行政文書の保存整理を柱とする「太宰府アーカイブ」の設置に向けて、私どもさらに努力を続けていく覚悟でございます。

皆様、どうぞ今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

(F)

年報太宰府学 第七号

発行日 平成25年3月31日

編集 太宰府市総務部情報・公文書館

推進課市史資料室

〒八二一〇一三三

太宰府市国分四丁目九一

太宰府市文化ふれあい館内

電話 〇九二一九二二―二三三二

E-mail:city-shishi@city.dazaifu.lg.jp

印刷 太宰府市

株式会社博多印刷

〒八二一〇〇二八

福岡市博多区須崎町八番五号

電話 〇九二二二八―〇〇四一